明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可 （日刊） 日曜及祭日の翌日休刊 明治四十二年九月一日 （水曜日） 第二百二號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●民籍調査の好況

民籍調査施行に就き種々の困難に遭遇すべきとは一般に豫想されたる處なるが事實は豫想に反し進捗頗る良好なりとは實に望外の幸ひといふべし今其樣子を聞くに當初は多少の誤解もあり調査上種々の支障もありしが調者被調者間に漸く異想を開闢し來り今や人民より進で調査を促催し來る程にて概して調査の進捗は善良なり唯だ多少の手數を要するは成年婦女の名なきと及生年月の不祥なるか前者は隨時隨意に命名せしむるか或は無止場合に於ては某氏第何女と記入等の一時的便宜に依り又た年齡調査には干支繰出しの簡易なる書冊による等臨機の法を採り居れり就中小兒四五年內外迄は殆ど一定の名を有せる者鮮く一段の手數を要すれ共要するに調査當事者の漸く其手心の熟するに至り調査上にも進捗を促進し此の分にては豫想壹年內には調査終了を告げるやも知るべからず唯だ遺憾なるは調査人員の不足なるにありと

●滿韓航路の大擴張乎

若宮遞信書記官は滿洲沿岸及び北韓沿岸の視察を了へて昨日入京し今明仁川より更に南韓沿岸視察の途に就く筈斯くて來月六日東京へ歸任し視察の結果を具して滿韓航路に一生面を開くべき大擴張を行ふ由なり

●未墾地の現在と將來

農商工部農務課に於て專ら未墾地の貸下事務を開始するに至りしは隆熙二年五月以後のことにて本年八月に許可したる反別の總數は約一萬一千町步にして全道の內面積の最も大なる處は忠淸道にて二千町步京畿道にて千二百町步等なるが此內草生地は最も尠なく將來に於て猶開墾し得べき未墾地は約二十萬町步ありと云ふ

●一銀貨幣發行高週報

第一銀行券總發行平均高（自八月二十三日至八月二十八日）	一〇、三一四、五〇〇
內正貨準備發行高	三、四八一、四〇〇
保證準備發行高	六、八三三、一〇〇
銀行券平均手許有高	五五六、三三四
銀行券市場平均流通高	九、七五八、一六六
硬貨發行額（八月二十八日現在）	四、五〇八、七八〇
內 金貨貳拾圓	一、三五〇、〇〇〇
同 拾圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五拾錢	六九六、五〇〇
同 廿錢	八〇〇、五〇〇
同 拾錢	五七一、〇〇〇
白銅貨五錢	七七四、七五〇
青銅貨壹錢	一五一、九三〇
同 五厘	六四、一〇〇
金貨五圓	五〇、〇〇〇

●職員學生の宮城拜觀

東亞同文書院職員學生一同に對し特別を以て宮城拜觀許可賜はるべき旨鍋島東亞同文會長に御沙汰あり此程根津院長引卒の下に右拜觀の榮を辱ふせりと

●東亞同文書院新入生

上海東亞同文書院第九期學生八十餘名は全國各府縣より二十五日迄に全部上京し二十六日華族會館に於て入學式擧行其より橫須賀造船所其他重要事物見學終て昨三十日午前六時新橋發同日名古屋泊、三十一日京都泊、九月一日二日大阪泊、三日神戸泊右各地の見學を終へ四日神戸發の筑後丸に搭じ上海に直航すべしと

中山大納言

第卅九席 桃川燕玉演

そこで祖母さんに暇を貰はうッたつて容易に快く暇を呉れる氣遣ひはなし、他に斯うと云つて相談をする人もない、自分の叔父さんに劍持長藏と云ふ人がございまするが、是は誠に彦九郎を好くして呉れるが武州の原郡臺村と云ふ所に居りまする、ちよつと相談も出來兼ねまするから、そこで或一日伊勢崎へ稽古に行きまするのを止めて宵から家へ寢込んでしまつた、何時にも此彦九郎が家へ寢た事などはない『不思議な事があつたものだ、彦さんが今日はあんな好な本の稽古に行かつしやらぬ、どうかしなすつたかい彦さん 彦「少しどうも腹の工合が惡いから、今夜はまア何處へも行かずに早寢をする、皆さん御免なさい」と自分の座敷へ行つてゴロリ橫になつて大肝をかいて寢てしまふ、家內の者も安心して眠りに就いた隙を窺つて、ムク〳〵と起上つて竊て奧の土藏へノコ〳〵入り込んで、先祖傳來の備前兼光の大刀、菊一文字の脇差、家の資としてある、此二腰をそつくり出し豫て自分が斯うと思ひまするから、人知れず揃へて置いた黑木綿の紋附の衣類、小倉の袴、旅の調度もすつかりある、それを取出し手早く背負込むと、路用の金子は平常自分が竊に貯へて置きましたに依つて、それを懷中して一通の書置を殘し、夜に紛れて家を飛出した。さアどうも彦九郎大喜び、天秤棒のやうな大刀を腰へ打込んで、包を西行脊負に引脊負つて菅の笠を戴くと、ドン〳〵道を急いで中仙道筋を乘込んで來た初めて出ました都の町、三條の橋へ掛りますと遙かの向ひに見ゆまする大內、あれが一天萬乘の君の御座あらせられる御所だと云ふ、初めて聞いて初めて見た彦九郎の喜びは譬へん方はございませぬ、攜へました笠を傍に投出し、往來繁き三條の橋の眞正中にどつかり坐り込んでしまひ、天秤棒のやうな大刀を傍らに置き、橋の眞中に兩手を突き謹で平伏をし 彦「恐れながら手前は上州新田郡細谷村の產草莽の臣高山彦九郎と申す者でござる、扨々微々たる御住居甚だ痛はしき限り、何と情ない今日の御姿、憐れ王政復古、どうか此大內裏を立派やかに御造營をし奉て主上之に在らせられるやうに致し參らせたい」と五臟を絞つて浮む淚は誠の淚、止めんとして止まり兼まする。頻りに頭を下げ、オイ〳〵泣きながらゴト〳〵獨言を言つて居りまするのは、誰が見たつて本性と思ふ者はない、物珍らしいのは何處でも同じ事、何しろ三條の橋だから往來は忽ち黑山のやうに人が立つてしまつた「何おやい阿呆らしいまア氣違ひに違ひない △「ハア士の氣違ひぢや迂濶に側へ寄つて怪我してはならんから、さア遠くに退いて居つたが宜い、何を泣いて居るか阿呆らしい人があつたものぢや」と頻りに指を指しゲタ〳〵笑ひ、惡く言ふ人はあるが褒める人はありはしない、と大勢を左右に押分けまして ○「さア〳〵退け〳〵何を貴樣達は立つて居る、往來の妨げだ退かぬか退かぬか」と其れへ參りました一人、歲の頃は五十ばかりになりまする、美しき鬚は胸下に垂れ、頭は總髮でございまする、被風と云ふものを着て、大層人柄の善い人物 ○「これ〳〵其處な武家…… 彦「ハイ ○「お前は先刻から淚を流し何を拜んで居る 彦「イヤ是は甚だ恐縮を致す、此から大內を拜し思はず淚を催し、暫し茫然と致して居つた ○「ハヽアお前は頗る勤王家と見ゆる、何せい此處は往來の烈しき三條の橋、誰が見てもお前を狂人としか見ない往來の妨げになつていかぬ、さア〳〵此方へ御出で、初めて都に來なされたか 彦「左樣、今日初めて都に參りました ○「イヤ面白い方だ、未だ手若、血氣盛ん、實に感服致した、私が處へ來つさしやるが宜い 彦「千万忝ない、其許樣は…… ○「俺はつひ此先だ、寺町通りに住ひをして居る中川規齋と云ふ、聊か人に物を敎へる者だ、兎に角私の處に來さつしやるが宜い 彦「それは千万忝ない、初めて都に參つて未だ知る人は一人もございませぬ、何分どうか御引廻しを願ひたい、御供を致すでござる」さ來て見れば誠に閑靜な住居でございます 規「さア〳〵客人や此方へ上らつしやい、別に氣の置ける者はない、小僧が一人、老婆が一人、其他に誰も居ない、其處に履物がある、草鞋を取つて足を洗ひ、此方へ上らつしやい 彦「千万忝けない」と盥て筧の水で足を洗ひ、座敷へ上つて見まするに、誠に淸らかな住居でございます、爐端へ座を占めました中川規齋先生「私は漢學の指南をする規齋と云ふ者、お前は何處の者だ 彦「拙者は上州新田郡細谷村の產高山彦九郎と申す者 規「ホヽー初めて都に來なすつたか 彦「左樣、一天萬乘の君の在する大內を是非拜さうと永年の思ひ、漸く今日都に出まして、初めて三條の橋上から窺ひましたる所、思ひの外微々たる御住居、何とも御痛はしく存じまする所から思はず淚に暮れ、立つ事も忘れました。

京城新報

初秋の衛生

殘暑漸く凌ぎよく、朝夕の冷風は肌に稍々寒さを感ず、天高く地淸く、宇宙の森羅萬象悉く爽氣を帶び來る、初秋は實に一年中の最も快適の季節也、如何なる俗人と雖も快適の季節に入りては何となく俗腸を洗はるゝの心地ぞする。

然るに此快心の季節こそ最も恐るべきの時たるを知らざる可らず、酷暑によりて人は疲勞を感じ易く、其際に於て急に冷氣を覺ゆ、勢ひ人体に急激なる變化を起さゞるを得ず、四季何れも氣候變化の際には病者の多きは此故ぞかし、殊に初秋に於ては最も此憂多し、毎年赤痢虎列剌等流行病の發生するは此季節なり、酷暑を凌ぎて漸く快適の季節に入る、覺へず食物其他に就て衛生上の注意を怠るに至る、惡疫の發生は概して此不注意より來ること多し。

今は乃ち其時也、氣候の變化するときにして人々自ら衛生上の注意を缺くとき也、幸にして京城附近には流行病の發生を見ざるも、安東縣及義州方面には虎列剌病發生し蔓延の徴ありと聞く、新義州には患者三十余人發生し死亡者八人あり尚鐵面にも同患者の死亡あり、龍巖浦にも十一人の患者亡せりと、患者の數に比して死亡率の多きは其病勢の如何に急激なるかを知るに足らむ、安東縣新義州は京城を距ること遠しとなし以て對岸の火災視するを得ず、交通の便備はれる今日に於ては油斷すれば病毒の侵入は一瞬時のみ、昨秋、我　皇太子殿下御渡韓の折にも京城に虎列剌病發生し、暫時の間に幾多の死亡者を出し京城の人士を戰慄せしめたり、之が爲に我　皇太子殿下の御入城も見合はせらるべしとの說起りしも、幸に軍隊及當局者の非常なる盡力により漸く撲滅するに至りぬ、激甚なる流行病の發生程恐るべきものなし、而して之を未前に防ぐの方法は他なし各自が衛生に注意するより肝要なるはなし、就中食物の注意と淸潔法の勵行とを以て最なりとす。

京城の如く日韓人雜居の地にありては淸潔法の勵行上最も困難を感ずる也、日本人のみ淸潔法を勵行するも隣家の韓人にして之に倣はざれば何の効果もなし、由來韓人は住居の周圍は糞尿塵埃堆積するも恬として顧みず、近來稍々此弊風を改めたる觀あるも、是れ唯一部のみ一般に至りては更に往時と異る所なし、溝渠の如きは鼻を掩はざれば通行する能はざる所あり、在留邦人の衛生に注意を拂ふは勿論なるも韓人に對しては極力淸潔法を勵行せしめざる可らず、邦人のみ之を勵行するも四圍の韓人にして之に努めざれば何の効果をも奏せざる也、當局者は宜しく韓人に對して衛生思想の發達を奬勵する爲に毅然たる所置を取るべき也。

東京電報

▲瓦斯會社の無配當　本日日韓瓦斯電氣會社の株主總會を開き今季株主に對して配當を爲さゞる事に決定せり（卅日午後發）

▲日韓瓦斯社長交迭　本日の株主總會に於て日韓瓦斯電氣會社長澁澤男辭任し白石博士就任したり又監查役重任する事に決定し澁澤前社長へ慰勞金を贈る（同上）

▲吉長線の起工期　借款調印を終りたる吉長鐵道は十月中旬より工事に着手すべし（三十一日着）

▲東宮誕辰御祝賀　本日皇太子殿下第三十回御誕生日に相當するを以て日光田母澤御用邸に於て各大臣文武官の祝賀を受けさせらる（同上）

▲淸留學生の無謀　在東京淸國留學生等は日貨排斥を決議し決議實行の爲め上海天津東三省の各商務會に日本と貿易を營むべからず安奉線工事に人夫を供給すべからず亦線路用土地を賣るべからず等煽動的文辭を弄したる檄文を送附したり（同上）

雜報

●日英博覽會と韓國

日英博覽會に對する韓國の出品準備は荻田書記官東上の際東京に於て同會事務局と協商を遂げ其方針を決定し韓政府各部へ照會を發したる由なるが其內容を摘記すれば左の如し

▲方針●　は統監政治開始以後に於ける韓國の政治經濟文物制度の改良及進步の現象を表示するを以て目的とし之に伴ふ古今の美術參考品を蒐集し且つ歐米向輸出品として將來好望なるものを出陳せん希望也と而て

▲出品●　の範圍は農林、鑛山、工藝品等にして水產物は腐敗及放臭の恐れあるより見合せとなれり而して既に確定せるものは韓國廿五萬分一の縮寫模型を製作し其他參考品として圖書製表寫眞五六十枚を出品する由

▲豫算●　は未だ確定せざるも三万圓乃至四万圓位の範圍に於て準備中なり而して目下各部へ照會し出品種類撰定中なれば此結果或は多少の增額を見るやも計られずと

▲面積●　は僅かに二十五坪のみなるも博覽會中最も樞要なる二十三號館にして此區劃は特に臺灣及日本婦人會の出品物を以て占有する筈なれば尠からぬ利便あるべし且つ出品の性質は統監府出品と標榜し殖民地臺灣と同區劃に併陳する筈なりと

▲構造●　は韓國風の通用門を築造し衆目を惹くに便ならしめ通路の兩側にも均しく韓國風の棚架を設置して是に陳列を爲す筈なれば出來の上は意外に光彩を添へ歐米人の好奇心に投ずるを得べし

▲模型●　は前記の如く韓國二十五萬分の一則ち僅一間半縱二間半にして交通產業氣候文化等の關係を一目瞭然たらしめんとし既に原圖の製表を了りたれば不日內地より製作家を招き實地を踏査せしむる筈なりと

●本年の製鹽概況

本年は雨多くして製鹽の成績には甚大の影響あるべしとは一般に想像さるゝ處なるが昨年に比し概して增收の成績を擧ぐ今昨本年各月を對照すれば

昨年四月中　二萬五千三百五十二斤
本年四月中　二萬一千〇五十六斤
本年五月同　二万五千八百五十一斤
昨年五月同　二萬八千九百五十七斤
本年六月同　二萬〇五百四十一斤
本年七月同　一萬五千六百三十四斤
昨年七月同　一萬二千六百三十三斤
本年八月同　一萬一千四百十七斤
昨年八月同　一萬二千七百三十三斤

以上表中四月中四千二百九十六斤の減
五月中三千百〇六斤の增
六月中八千七百〇四斤の增
七月中三千〇〇　斤の減
八月中二千三百十六斤の增

但し八月は廿四日迄の收穫なり

天候と製鹽とは最密接なる關係を有するは無論の事なるが其關係は單に晴雨に止まらず寒暖も亦た收穫上に至大の關係を有す既に本年の如く春期に於て解氷の速き時は鹹水の鹽分濃厚にして製鹽上增收を來す以上產額は朱安鹽約一町田歩の成績なるが尚は同方面に於ける別個本年五月二十九日より開田せし約四町歩弱鹽田の製額は六萬〇六百六十二斤にして昨年に比し本年は一般の需用も益々好況に向ひ前途頗る有望なりといふ

●各地米豆價額比格表

財務署の調査に係る八月五日現在の米豆卸賣價格は左の如し

	仁川	江景	郡山	木浦	馬山（日種）	馬山（韓種）	密陽	海州	鎭南浦	龍岩浦	平均
籾 上	五、六〇〇	二、九〇〇	三、九〇〇	五、一〇〇	五、三〇〇	四、六〇〇	五、六〇〇	三、三〇〇	六、三〇〇	四、五〇〇	四、六五〇
籾 中	四、三〇〇	二、八〇〇	三、八〇〇	四、一〇〇	五、〇〇〇	四、四〇〇	五、二〇〇	三、〇〇〇	四、五〇〇	四、〇〇〇	四、一〇〇
籾 下	三、八〇〇	二、六〇〇	三、七〇〇	一	四、六〇〇	四、三〇〇	五、〇〇〇	二、八〇〇	三、七〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇
玄米 上	九、七〇〇	八、〇〇〇	八、六〇〇	九、四〇〇	九、七〇〇	九、五〇〇	八、六〇〇	七、五〇〇	九、三〇〇	八、五〇〇	八、八〇〇
玄米 中	八、九〇〇	七、八〇〇	八、二〇〇	九、二〇〇	九、五〇〇	九、三〇〇	八、三〇〇	七、二〇〇	八、七〇〇	八、〇〇〇	八、五〇〇
玄米 下	八、六〇〇	七、三〇〇	八、〇〇〇	九、〇〇〇	九、三〇〇	九、一〇〇	八、〇〇〇	六、八〇〇	七、五〇〇	七、六〇〇	八、二〇〇
大豆 上	五、九〇〇	四、四〇〇	五、三〇〇	四、八〇〇		五、〇〇〇	四、六〇〇	三、七〇〇	六、二〇〇	五、六〇〇	五、〇五〇
大豆 中	五、六〇〇	四、〇〇〇	五、二〇〇	四、三〇〇		四、七〇〇	四、四〇〇	三、二〇〇	五、七〇〇	五、四〇〇	四、七〇〇
大豆 下	五、二〇〇	三、八〇〇	五、一〇〇	四、〇〇〇		四、五〇〇	四、二〇〇	三、〇〇〇	四、三〇〇	五、三〇〇	四、二六〇

●平壤鑛業所採炭現況

平壤鑛業所に於ける目下の採炭額は一日約百五十噸一ヶ年五万五千噸の由なるが其中三萬噸を德山海軍煉炭所一萬噸を芝罘三和盛に殘余の五千噸を韓內地に供給せるが運輸其他の設備を完成して今後採炭高を增加し更に長崎煉炭所、德山谷煉炭所に一萬噸德山海軍煉炭所に一萬噸を供給すべく交涉中なるが海軍への分は德山渡しにて八圓九十錢其他は平壤渡しにて支那白粉炭三圓六十錢韓內地の分塊炭四圓半乃至五圓粉炭三圓半乃至四圓なりと鑛夫賃金は韓人日雇三十五錢受負堀四十五錢日人九十錢位にして其數は五百人余なるが內日人は七八十人なり現在坑口は十ヶ所なり鐵道は現今堂里貯炭所まで通じ之を延長して八月十五日頃松羅山に九月十日頃寺洞に十月中に高場山迄開通の豫定なりと

●地方費と其徴收額

今一日より實施さるべき地方費の科目は各道の事情及慣習に依りて費目を異にし各科率も同じからざるが大体に於て市場税、屠獸税、苞肆税、典當舖税、渡津税及地税の附加税等なるが地税附加税を除くの他は何等準據すべきものなきを以て之れが徴收額を知る能はざるが故に之れが以て施設すべき事業等も今判明せざる由なるが地税附加税のみは地税六百二十八萬三千九百〇六圓隆熙三年度豫算の百分の五即ち約三十六萬四千余圓なりと云ふ

●本年植樹成蹟の良好

今春觀察道を通じて韓人へ理事廳を經て邦人へ下附せし農商工部の苗木植付後の成蹟を聞くに各道平均白楊は五割三分櫟は四割七分山赤楊三割四分落葉松二割八分の成蹟なるが成蹟の最も不良なるは黃海道の四分二厘滑津の五分にして原因は時期遲れたる爲め又良好なるは忠北の八割三分新義州の八割なるが右は苗木のみにして播種の方は一般に成蹟良好なりといふ

●工業の獎勵と補助金

農商工部に於て工業獎勵の爲め補助金を下付せるものは慶尙北道大邱實業傳習所（補助金年額六百圓）大邱南韓製造所（補助金年額一千圓）全羅南道潭陽工業傳習所（補助金年額八百圓）同羅水竹器製造所（補助金年額五百五十圓）の四箇にして孰れも昨今年の創設に係り其成蹟未だ著しからずと雖も概して好望を屬せられつゝあり而して該補助金は大邱製莚所は向ふ三箇年間補助を繼續せらるべきも其他は未定なる由

●東宮殿下誕辰と統監

昨日は吾が皇太子殿下の御誕生の佳節に相當せるを以て曾禰統監は村木東宮太夫を經て日光御用邸に御避暑中の殿下へ祝電を奉呈したりと

●慈惠醫院と特別會計

曩に發布したる韓政府慈惠醫院制は其會計を特別會計として毎年度一般會計より四萬五千圓を補充し是を歲入とするの件一昨三十日法律第二十五號を以て發布せり

●市場税は等級に決定

地方費の主なる財源たる市場税は買場高を標準とするか或は等級税かするかに就き種々協議中の處愈々等級税と決定したりと

●昨日の大臣會議●　李總理大臣以下各大臣（度相缺席）は昨日午前十時より統監邸に參集し普通政務に就きて協議するところありしが當日は統監も列席し日本側よりは木內、岡、石塚の各參與官鈴木次官代理及び國分、佐竹の兩秘書官も參會したる由尚は小宮次官は缺席し十一時四十分散會したりと

●貞慶民團の總會●　貞慶民團にては二十九日中部樸洞善光學校に於て總會を開きたるが議事々項は九月一日より學校授業開始の件數化門前路擴張の爲め撤解家屋の調査學校建築費保管の件役員の選擧及調查委員設置の件等なりと云ふ

●燈臺局官制改正●　隆熙二年度の豫算に計上したる新設燈臺は既に夫々竣成に近きたるを以て之れに要する看守の增員をなすの必要あり近々頒布せらるべき筈なりと

●瑞寶章と親授式●　既報の如く去る二十七日午後一時韓皇即位紀念式當日皇族及外戚貴夫人へ勳一等勳二等瑞寶章親授式あり

●地方費會計規則●　法令審查會にて草案脫稿せし由にて不日閣議を經發布さるべし

●地方官資格審査●　昨日內部に於て各觀察使推薦の郡守候補者の資格審査を爲せり

●典膳司分課規程●　宮內府典膳司に主膳課典務課を置き之に關する分課規則發布せり

●新聞紙規則の改正

統監府は一昨三十日公報號外を以て新聞紙規則の改正を發表せり是を從來の同規則に比すれば言論の檢束益々嚴密を加へ統監政治の機秘に頗る便ならしめたり今其內容を摘記すれば前規則の屆式なりしを認可式とし保證金額を倍加して京城仁川釜山及其區域外二里以內の地は二千圓理事廳所在地及其區域外一里以內の地は壹千圓其他の地に在ては五百圓とし編輯の責任に關する規定は實際の編輯を擔當したる者揭載の事項に署名したるもの及取消正誤の揭載を請求したるものにまで及ぼしたるが如き殆んど台灣と內地法とを折衷改惡したるものなり

●韓銀創立迄の日取

韓國銀行の創立に關する事務は目下東京に於て着々進行中なるが是れに付き全く創立を見るに至るまでの日取を聞くに

一募集締切は一日にて滿株に達するとしたらば九月六日を以て株式募集を終了す

一應募株式の總數を調査し之れを割當確定するには十日間の見込なる故九月十六日となるべし

一株主に通知書を發送すべく之れを調製すると同時に取扱銀行へも夫々通知すべきに付之れに要する日取約十五日（十月一日頃）

一第一回拂込迄の日子約十日間（十月十二日頃）

以上の手續を了したる後十五日間にして創立總會を開く筈なれば十月二十七日頃を以て韓國銀行は愈々生れ出づることなるが夫れと同時に全部渡韓の上にて第一銀行との引繼に三日を要する豫定なる故銀行の業務を開始するに至るは蓋し十一月初旬なるべしと云ふ

●韓銀株應募者の注意

韓銀株募集前の景氣は非常に盛況にして權利株五十圓の唱なることは既報の如くなるが右に就き當局者の語る所に依れば株式申込期日は九月六日より十二日迄なるも第一日には無論需要額以上應募者あるべく從て當日限りにて締切ることは疑なきを以て申込希望者は證據金等申込に要する準備は凡て前日迄に用意し措き六日の銀行執務時間內に是非共申込手續を了せざれば到底目的を達する能はざるべしと云ふ

●韓銀株と官吏の制限

韓國銀行株募集の前景氣は好況にして東京に於ては權利株五十二三圓の高値を唱へ居る次第なるが韓國に於ても稍々活氣を呈し來り殊に日韓人官吏中には權利株にて一儲せんと企つる輩もあり斯くては弊害少なからざるを以て各部に於ては官吏は貯金の範圍を越て應募す可らずとの內訓を發したり

●二百十日は無事平穩

昨三十日南韓地方に接近せんとしたる低氣壓は昨三十一日朝日本海南部へ出でたるを以て北西風吹き氣溫下降し滿州長春は今朝午前六時五十度を報じ當京城は大抵六十八度に降り元山に小雨の外は滿韓共に晴天なれば明九月一日の二百十日午後淡雲に蔽はるゝ事あるも一般に平穩に通過するならん（三十一日京城測候所報）

●トロールは許可主義

韓國沿岸に於けるトロール漁業取締法は既に農商工部水產當局者より案を具し回付に及びたる由なれば近々法律として發布せらるべし而して其內容は普通漁業者の意見を參酌し條件付許可主義を採らせる由なり

●鴨綠江岸の虎病猖獗

鴨綠江畔に於ける虎列拉病は益々猖獗を極めつゝあるを以て內部よりは技師を急派し尚京畿、慶北の兩道警察部より應援として各五名の巡查を派遣したるが尚盛んなりと

●俵學部次官の馬山行

俵學部次官は昨三十一日午前九時發列車にて馬山へ避暑したり歸京は五日頃なりと

●在韓早大校友會●　在京仁の早稻田大學校友は來る四日午後六時より花月樓に於て校友大會を開催する由校友にして出席希望者は三日迄に京城大和町一の三三一淸水銀殿氏（電話四〇二）まで申込まるべしとなり

●關野博士と囑托●　東京帝國大學助教授工學博士關野貞氏は今回韓國政府より古建築物調査に關する事務を囑托せられたり

●三浦技師の轉任●　水路に精きを以て有名なる燈臺局技師退職海軍少佐三浦義深氏は龍巖浦燈臺局より鎭南浦轉勤を命ぜらる

●ンタクの歸期●　同孃は九月末出發歸國の途に就く由なるが宮中よりは種々の名目にて色々の下賜金品ありたる由なり

●韓銀技師の入京●　韓銀技師大田黑宜三氏は一昨三十日入京し佐藤旅館に投宿せり

●稅關長會議開催●　各關稅長は明年度の豫算に關し來十日より五日間會議を開く筈

●高女教授の任命●　淺野雪子女史は今回官立漢城高等女學校教授に任ぜられたり

公人私人

▲比企忠（京大理工科大學助教授）京城ホテルに投宿中の處三十日成歡へ向ふ
▲今永徹次郎（同）同上
▲河原達夫（判事同）新義州へ
▲木下重緒（統監府技師）三十日入京
▲佐藤政太郎（木浦勸業模範場技師）同上
▲保井印三郎（憲兵隊付一等主計）同上

近事片々

▲新聞●　規則改正亦突然現はる統監府は何に感じてか新聞に對する注意何ぞ周到なる
▲世界●　の大勢は漸次言論の自由を尊ぶ時韓國に於ける我官憲は何故大勢に反抗する
▲在韓●　の新聞に耳拘束を加ふるも何等の効力なし寧ろ祖國の新聞にも此條例を及ぼせ
▲見ず●　や祖國新聞の韓國に入るもの在韓新聞の數より多し規則改正は或は無意味か
▲言論●　は自由にせよ新聞には思ひ切たる批評をなさしめよ茲に始て總ての進步あり
▲反對●　論なく何事も官憲の思ふ儘にする所に榮光進取なし只夫れ一の退步あるのみ
▲新聞●　は輿論の反映新聞を排斥する政治は必ず腐敗を意味すとは世界の公論ぞかし
▲併し●　何等かの必要ありて此改正をなせしならむ片々は唯々上の御都合に恐縮す
▲日淸●　新協約には間島の領土權を讓步すると共に間島橫貫鐵道布設權を收むべしと
▲果し●　て事實ならば甚だ好し橫貫鐵道は何事を措ても布設の必要有布設權確保肝要
▲淸國●　の外交は攝政王の自覺によりて一變せんと吹聽せらるゝ或は是吹聽に止らんか
▲攝政●　王の自覺も那桐觀日說も要するに一の外交辭令と見るを要す霞ケ關熟擇せよ
▲安東●　縣義州方面虎疫發生して死者續出すと冷風颯到此際衛生に注意を怠る可らず
▲若宮●　遞信書記官は滿韓沿岸の視察をなす其結果滿韓航路に一新生面を開く可しと
▲滿韓●　內地の開發は沿岸航路の進步と相俟て進捗す此際航路擴張の計畫は甚だ可し
▲又進●　會の驍將坂本金彌君帶江銅山を債主に捲き上げらる君の勢力或は爲に變せん
▲比律●　賓土兵米人士官に反抗す米人敵せず日本人米人を扶けて其亂を平ぐとは快心
▲爲に●　比島の米人日本人の義勇を激賞すると日人の特長茲に有米人未だ眞相を不解
▲西班●　牙兵征軍の首途妻子號泣して夫の出征を止めんとす是では到底戰爭に勝てぬ
▲中に●　は軌道に橫はりて汽車の進行を止むる狂的妻女ありと西軍の弱き亦謂ある也

▲駐韓郵劃長更迭　駐韓

●嶠南教育會總會　去る二十九日嶠南教育會內に於て役員會を開き同會總務權重勳

暴徒の爲めに害を被りたる者に對し內部は救恤金を支給する筈にて目下之れが取調中

田は浮塵子にして一二郡を除くの外は粟稗の被害鮮からざる見込なりと

して一文をも送り來らざるを以て株主總會を開き帳簿の大檢査を行ひ其結果マイヤー

●各道儒生等の建白書　京畿前議官鄭珙朝を初め各道儒生の名を以て

せんとの悲壯激越なる建白書を統監府、內閣、中樞院に上りたりといふ

大追僞道けり

…島陸軍中尉…日發)

●面長等へ救恤金 …新代徴收に關する協議したり 面長及面主人にして

●平北地方の害虫狀況 平安北道に於ける害蟲は螟蛉は夜盜蟲、水本駐よりの輸送貨物を賣却し其代金を着服…たるを以て之を放逐して整理を成し事業…繼續すべく決したりと

我等に之を引…べく其肉を喰して…

▲相談の相談▼
(何んでも御相談に應じ升)

◎問 私は西小門通りの井戸の附近に住居致し居るものですが私の所の近所に今年十一歳になる繼子を苛める人があるのです父親は實父なれども女房の手前を兼ねて一つに成つて苛め散らすのです見るに見兼ねて時には氣に入らんことの一つも云ひますが殆んど餘計な世話だと云はん計り其子の爲めに詫びでも云つて行らうものなら其子は猶と苛められます前が近所へ行つて母さんの惡口を云ふのだらうなぞと打つたり擲いたり年が年中生疵の絶間もない程何うしたら此の母の量見が直りませうか余りに其の子が可憐いから他人事ながら御相談致します(四軒長屋)

◎答 奇特な思し召しです、此の事は本社でも薄々聞き込んだこともあるのですで、猶更同情致しますが、此の母親の量見は到底眞直には成りますまい、御申越されの内にもある如く忠告若くは注意を與ふる樣のことあらば反撥心を起して却つて酷く當るものです警察署の耳に入れて其の方から嚴に説諭でも爲て貰ふと云ふのが上策ですが成ることなら拋り出すに勝る方はないが互ひに他人の身としては出來得ぬ事で致方がない(係)

◎問 私は小資本を以て何か商賣を初めたいと思ひます五十か七十の金ですので此れと云ふ商賣も見當りません夫婦二人して稼いで行ける事はないものでしようか御相談と云ふよりも質問の樣なことですが一つ特別を以て御教へ下さい尤も御教へ下さつた商賣でよし損を致しませうとも決して恨みは致しませぬ(米倉町人)

◎答 承知致しました、何うです一つ團子屋を初めて見たら、當地にも種々なる間食物もありますが串にさして燒いて醤油を付けたのや餡を付けたのや糖蜜を付けたのやを一本四個或は五個付けて一錢とか二錢に三本とか云ふ風に小奇麗な三方硝子の商箱でも拵へて擔ぎ商いをするなり或は現在の住居の一部でなり行つて御覧なさい僕は乾度繁昌すると信ずる責任を負ふて勸め致します(係)

●巡査等の金品強請 ▲地方に於けるヨボ役人
江原道方面に於ける韓人巡査及び補助憲兵等は朝鮮流の誅求を止めず我警官憲兵の配給疎にして監督不行屆なるに乗じて寺院等に就き僧侶の社會的階級の弱味に付け込み種々の強請を爲し僧侶亦之に應ずるより弊害追々增長の傾あり郡衙の吏員等も自然此風に染みるの狀態なるを以て當局に於ては種々苦慮弊害の一掃を計りつゝあるも何分我警官の配置は二十四方里に一人の有樣なるを以て之に依て弊害の芟除を求むるは木に據り魚を求むると一般なるを以て被害者側に訓諭して爾來強請に應ぜざるべく若し應ずるに於ては強請者と同樣の罪科たるべしと威嚇し以て弊害を矯正するの方針也と

●確乎しろよ辰公 仁川花町派出所に一昨三十日十一時頃敷島廓内吾妻樓より電話にて只今亂暴者入り來り樓內の器物を手當り次第に破毀し居るにつき至急御出張取り鎭められたしとありたれば棄て置き難しとて警官出張取調べたる所右の男と云ふは仁川新町二丁目に住み飲料水の販賣をなす田原辰次郎(二三)と云ふものにて當夜も早くより登樓遊興したるも何故か相方の娼妓が辰次郎を振り付けたるより然う云ふ筈ではない筈の辰公俄かに怒り出し自分の衣類紙入等を引き裂き棄てたる后は其所にある丼小皿其の他何んでも手當り次第に破壞しつゝありたるにぞ一先づ派出所に引致し覺醒するを待つて散々に説諭を加へたる上放還したりと云ふ、オイ辰公確乎しねいな

●自轉車の取戻し 當地御成町白九十番地藤田啓一郎は一昨日所用ありて西大門外に至りしが一人の支那人が自轉車に乗り來るに出會ひヒョイと見ると此の自轉車こそ本年六月頃迄自分が使用し居りしを同月盜難に罹りたるものなるより件の支那人を呼び止め西部署へ同行此の旨訴へ出でたるに取調べの結果前記支那人は西大門內居住材木商元興號事載龍德(三九)にして該自轉車は今より四五十日前散髪してパナマ帽を冠り黒洋服を着したる二十歳前後の韓人より十九圓にて買受けし旨を申立てしも同品は藤田の物なる事疑ひなきより一應假下げとして同人に交附せらる

●ドナラか眞實か 南部石井洞八統十戸與風漢方居住の村山虎雄は一昨三十日午前七時頃便所に至り其の際懷中物を落したるも氣附かず居室に歸りたるが直ぐ後に同所八統九戸李溥杓方同居人尹成實の妻金姓女が便所に行き前記懷中物を拾ひ持ち歸りしが此の時村山は懷中物無きに氣附き便所に至りしも見當らざれば金姓女に尋ねしが拾ひし旨答へて返されしかば中を檢めしに二十三圓入れ置きしに十三圓しか在中せざるにぞ本人同行其の筋へ屆け出で今尚は取調べ中

●散髪屋ご駈落ち 龍山元町三丁目質商伊藤智佐の養女はな(十八)は昨卅一日午前七時頃突然姿を隱したるにぞ養父母は大に驚き所々捜索するも判明せざるに困じ果て居たる折柄直ぐ向隣の散髪屋の職人今泉某も同時に姿を隱したりとの事に扨てはと合點する折柄其の朝相携へて電車にて京城方面へ向ひしを車中に見たるものありとの注進に全く駈落ちせしものと判明し養父より其の筋へ保護方願出でたりと云ふ

●贓品携帶の自首 愛知縣丹羽郡西成村大字西大海道七十一番戸平民眞野貞一(三〇)は先頃迄仁川港鬼頭商店に雇はれ居りしが都合ありて先頃同家を解雇せられたるが其際同店の商品支那人向き纏入りの針一個二圓九十錢のもの八個を窃取して當地に來りしが彼れは其の非を自覺し良心の苛責に堪へず本月二十九日西部署へ自首せりと

●自轉車乘の痛事 一昨三十日午後三十分頃龍山濱町一番戸田中高雄方雇人廣島縣沼隈郡水呑村字平木字陀松太郎(二十)は元町二丁目街路に於て自轉車の練習をなし居たる際通り蒐りし京城東門分契李俊默(六十)なるものに突當り胸部其他に負傷せしめたるより本署に拘引の上治療代金三圓を支出せしめられ尙此の後の經過如何に依りて更に醫藥料負擔せしむ可き旨申渡さる

●ヨボの掻つ淩ひ 仁川栗木洞居住金洪吉(十八)と云ふは一昨日午後七時頃宮町三丁目兒玉虎次郎方の店に置きありたる錢箱より一圓紙幣一枚を窃取し逃げ去らんとしたるを主人に認められ直樣取押へられ警察署に突出さる

●鐵槌を胡魔化す 仁川民團掃除夫尹洞居住池近汝(四〇)と云ふは一昨日午後宮町三丁目西岡方を掃除する際鐵槌一本を胡魔化したるを同家內の柿本某に認められ本署に同行せられ訴へられたれば大目玉を頂戴す

●盂蘭盆會の敷島 一昨三十日は舊曆七月十五日に相當したるを以て仁川市中は相應に賑はひたるが殊に敷島は近來になき人出を見たるが登樓客は比較的尠なく五十四人其の遊蕩費百九十三圓なりしと

●遺失金二圓卅錢 仁川仲町三丁目ライジングサン石油會社雇人梶川正吉と云ふは一昨日午後四時頃税關より仲町二丁目に至る途中にて二圓三十錢入りの財布を遺失して屆け出づ

●拾得三十三錢也 龍山印刷局官舍第七號大畑ひで女は廿八日凱旋町敷島湯前に於て三十三錢在中の財布を拾得して屆出づ

●公判だより 今一日法務院に於ける公判(刑事)は左の如し
一、賭博米谷增吉 二、警察犯處罰令違反兒玉森三 三、墳墓發掘內田藤四郎 四、賭博小林松太郎、龜井芳雄 五、窃盜木下金之助 六、誘拐大村むめ

●京城座の慈善演藝會 ▲今日より向ふ三日間
今一日より向ふ三日間京城座に於て大阪大火災、江州震災の慈善演藝會を開き其利益金全部を義捐する筈なりと近來慈善興行盛んに流行して其處もかしこも慈善攻めの姿となり來れり其趣旨は甚だ宜敷けれど願くは慈善商賣に陷らざる樣頗る公平に行はれたきものなり尚ほ演藝番組は左の如し
ヘラヘラ踊り(大西昇、中村艶子)日露旅順踊り(橫山研太郎)劍舞(上田)ステテコ踊り(だるま)落語種々(米丸)朝顔日記(義夫太三八)御所櫻堀川之段(○丸)尺八三曲(中山)祭(淸澤)三味線(某合奏)手踊り(改進亭內、豆ちやん、京三、金龍)○大坂大火災北の新地孝女谷口之內之場しかけ花火大道具にて致ます○江州實姬村震害地の現狀此が二幕(京城座新俳優總出)

▲演藝

▲歌舞伎座 愛澤一座本日の替りは「新勝錄」全十一場にして重なる役割左の如し
田舍娘れはな實は百鬼のおれむら(西井)兒分吉松(仁科)小笠原さよ子(桂木)山岡小太郎(河野)願生寺住職春洲(角村)うばのれはな(中村)兒分留吉(大和)小笠原則義(松村)兒分三吉(小谷)巡査倉田(天草)刑事岩本(有村)花車政五郎(北村)百姓吉兵衛(木下)書生木下進(三島)百足の寅松(美崎)山岡重造(篠崎)陸軍步兵大尉近藤繁(愛澤)山岡重五郎(高島)若者辨吉(忍)

吉凶鏡 本町五丁目 三一館判斷
九月一日舊七月十七日六白大安甲子さたん節分より二百十日目△一白 快欣なる日なり進みなす事吉殊に命名元服婚禮等に吉△二黒 總じて寧福の日なり特に再婚及晩婚者の婚約婚禮等によろし△三碧 虎に翼を生ぜし如き日なり、急激躁妄に失して大なる誤謬あり△四綠 親しき間不和不睦の徴あらん言語飲食節を失するなかれ△五黄 有利有望の日なり仕官、就職、婚姻、縁組の事談克く整ふ△六白 厄運日なり創始改變あし色情快樂に沈溺して過誤失態あるなかれ△七赤 決斷早急に失し過ちあり證券印形の事留意すべし△八白 怒恨不平內に堪ねずして外に猛發し易し之が爲め多年の効を一簣に缺ぐ事あり△九紫 己れの地位を保維する上に付きて損失配慮あり女の身上につき吉話事あり
右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

◀平民文庫▶
▲屠牛場を城外に遠ぐる必要がある以上豚や山羊を屠る所も人家稠密せる所に置くべきでないと思ふ、午前三時半頃より西小門通り貴社裏に當つて豚の悲鳴が約一時間半以上も斷續して聞へる一度此れに夢を破られたが最後再び夢なり難しである每朝のことだ何んとか爲て貰へんだらうか(西小門通住人)▲僕は京城の居留民長に秋田毅を推薦するよ(一公民)▲儒生を坑にしたるの愚は秦の始皇に盡きたりと思ひきや時は現、東洋文明の先覺者たる日本の代表的人物によりて當京城に再演せられんとは、お釋迦樣でも御存じあるめゐ(海月)▲本町四丁目角の藥店に近頃より見ゆる青年は北海道函館商業學校に居るケーエス君にあらずや一寸下名迄

ね(旭町一の十一同窓菊地生)▲度支部官吏中朋黨を作つて互に相排擠せんとしつゝある實相を投書しましようか(一公吏)▲此れが旣に朋黨臭いれ手元拜見だ(小僧)▲酒匂とか云ふ東大門外に事務員を勤めて居る白髮頭の人は近けん身の体にありながら本町の賣春屋を片端より走回り其の揚句には本町四丁目にて若年の書生に突當り喧嘩を吹掛けアワヤ大事に至らんとせしを或る人の仲裁にて事濟み笑止千万(實見生)▲食慾婆さんのソンタクが今度歸國するに就て留別會を開いた席上で某高官の演說は婆さんを昇ぎ上ぐる事皶丈、其淸廉潔白なるは讓が現在の家屋庭園を宮廷に返還する一事を以ても知るゝ云々さヘン薬々ロハで頂戴したものを自分が死んでから後ち返還するからつて何にも別に驚いて稱賛する程の廉潔でもあるめゑ、慾張婆さんが韓皇室に巧く取入て甚麼に甘い汁を汲たか知れたもんぢやア無ねや(色男のコック)▲此頃滿洲から退去を命ぜられた不良漢が續々京城へ這入込んで來て甚だしく良民を苦しめて居る何卒嚴重に其筋の取締を望む然して彼等の棲窟は南大門附近に多い樣である(被害者一人)▲廿九日の京城日報三面文藝懸賞披露で一等の選に成た都々逸『涼む二人に水さす氣やらホロリねぎの露が散る』は頗る振つて居る又一口噺の一等は誰が出したのか投書家の名が一向に分明らぬ(校正素郎)▲魚遊痴史さん幾許しらばつくれても駄目ですよ貴郎の唄の口調は私はチヤンと知つてゝよ獨立門人だの獨門隱士だのと名前をかへても欺されませんわいかゝです早く甲をれ脫ぎなさいな(はまじ)

各種洗濯石鹸

専門製造販賣

用途

陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髪、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求職業　醫學専門學校二年迄修業せし者醫師病院其他適當の職業を求む市内確實なる保證人あり　氏名在社（四二四）

●求仲働　配偶者ある二十六の女潔淨なる家庭の仲働又はお針女に雇はれたし但給料八九圓を望む　氏名在社（四二五）

●被雇度　普通教育ある二十八の男一定相當の職業を授けらるゝ仁人君子に遭逢したし但會計事務簿記方などに雇らるれば尤妙　氏名在社（四二六）

●求人　外勤事務員採用午後四時より來談あれ　京城相生町一六南門館　波多野

●求職　年廿五内地商業學校教員奉職中の者清語及商科一般の智識あり會社商店若くば官廳に雇はれたし　氏名在社（四二七）

●下女入用　廿歳前後の下女入用希望者は本人直接來談あれ　龍山停車場前大陽館

●求職　多年小學教育に從事せし者至急相當の職業を求む但給料多きを望まず　氏名在社（四三一）

●學藥局生　年廿東京に於て經驗有大和町一の八入浪花湯不治元迄御一報次第參上

物件部

●求宅地　官吏むき家屋建築に付き格安の宅地二三十坪買入たし　京城旭町一丁目五十三ノ四　安藤

廣告

◉開店廣告◉

殘暑之砌各位益々御清榮奉賀候扨今回左記へ開店仕御料理其他總て江戸子流に御手輕を旨とし開店披露の爲め大勉强仕候間御引立之程奉希候

京城本町六丁目西崎雜貨店横手

會席御料理　しのぶ

廣告

右本人の望に依り解傭致候間以後弊商會に關係無之此段廣告候也

松田慶之助

大和商會印刷部

土耳古金口葉卷

特製大景品附大賣出

REGISTERED　HAND MADE TURKISH CIGARETTES　MANUFACTURED G.D. FROM CHOICEST TOBACCO　TRADE MARK　G. Dienesi　SAMOS-TURKEY　ANNUAL CONSUMPTION

◉賣出期間　明治四十二年七月十五日より同年九月十五日まで

●抽籤日　同年九月二十日

●景品引替期間　九月廿一日より十月卅日まで

●本景品券は百本入壹個に付一葉を呈す

一號太卷インペリヤアル　一圓四十錢

インペリヤアル　一圓

黑卷スポート　十錢

景品目錄

一等　額面金貳百圓勸業債券　一個

二等　金側時計　一個

三等　二枚續白毛布　一箱

四等　ブドウ酒（一打入）　一組

六等　コーヒー道具　一個

八等　バスケット　一枚

十等　婦人レートス

五等　金口葉（百本入）十箱

七等　信玄袋　壹個

九等　手提文庫　一個

（以下容籤なし）

トルキー、サモス、ヂェヂシ會社

トルコ煙草商會

特約店

本町六丁目（電話五七一番）岡野洋物店

本町二丁目（電話二四八番）辻屋本店

本町三丁目（電話三六六番）辻屋支店

質商及用達業

京城本町七丁目

松田慶之助

小生儀從來大和商會印刷部に執掌罷在候處別業も有之不才到底兩全の力及難く候條今回合意の上同商會を辭し專心自宅本業に從事可仕候間倍舊の御引立相願度此段謹告候也

●本品は安價にして自宅修繕に便なり　靴裏に破損を生せざる以前に用ゆれば靴修繕の必要なし

●本品は婦人小供にても容易に取り付けらるゝ事を得べし　附け外づしも自由なれば

●本品は旅行用として携帶すべき必要品なり

●本品は如何なる旅行者と雖も十ヶ月間破損の憂なし

●本品は踵の回轉自由なり

●本品は

捻廻し一本で誰でも出來る靴修繕

右賣出披露の爲め弊店にて七圓以上の靴御買求の御方樣へはゴム製上等品一足分尙七圓以下五圓迄の靴御買求めの御方樣へは皮製上等品一足分進呈可仕候

價格……●……

ゴム製上等品　一足分　金二圓三十錢

皮製上等品　一足分　金八十錢

廣告の爲め當分二割五步引

京城本町一丁目（理事廳前通り）

富田製靴店

京城本町六丁目　富田製靴支店　電話九一九番

地方よりの御注文は代金引替小包にて差上可申候

●新案富田式耐久靴底發賣廣告

新案特許出願中（富田式耐久靴底三六九八九號　富田式耐久靴踵三六九八八號）

明治廿年七月創立●京城代辨店　本町四山口呉服店（電話九番）

東京火災海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓●事務所　京城本町二の三（電話一〇六〇番）

入院隨意

諸般の設備を改善して一般診療に從事す

内科小兒科部長院長　安藤一郎

皮膚病外科部長　醫學士　鶴田善重

花柳病産科婦人科部長　醫學士　山添喜代藏

耳鼻咽喉科部長　石田誠

診療時間每日自八時至後二時（但日曜大祭日休業）

京城明治町一丁目　電話十二番

漢城病院

朝鮮研究者の福音

朝鮮古書刊行

朝鮮開發者の資料

◉朝鮮の古書珍本を最も安價に手にせんとする者は本會に來れ

◎會顧統監大久保軍司令官初め日韓名士續々豫約申込まれつゝあり宮内府内部、學部初め日韓諸官衙は多くの部數を續々申込れつゝあり

◎躊躇して千歳の好機を逸する勿れ

◎本年七月より四十四年九月に至る二ヶ年間毎月七百頁以上の洋裝美本を一冊づゝ發刊す●豫約金は毎月三圓五十錢とす●豫約申込期限は九月限とす

●詳細は郵券二錢を送れ

發行所　京城本町九丁目（朝鮮雜誌社内）　朝鮮古書刊行會

豫約申込取次所　京城　日韓書房　京城日報社　大韓書林　同　文館　大阪　吉岡寶文館　東京

日韓印刷株式會社

營業科目

活版、石版、銅版、各種印刷、帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷諸材料販賣

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社　京城明治町三丁目　電話三二三番

出張所　東京麹町區麹町八丁目十九番地　電話番町二九〇番

●花柳病一般、痔疾注射療法

神戸資生分院

京城梅毒病院

新築落成入院隨意

京城相生町（南門湯隣）

院長　元兵庫縣福原驅梅病院醫長　醫學得業士　蘆田耕平

藥學博士丹波敬三先生發明

消毒　防臭　殺菌劑

クレシン

韓國内部衛生課御試驗濟

韓國各官衙

統監府各官衙

陸軍各官衙

御用品

販賣元　東京　合資會社　高田商會銀座販賣店

韓國特約店京城本町　天佑堂藥房（電話三百七十二番）

特約販賣自製

漬物　味噌　醤油　製造元

京城本町五丁目

大上商店

和洋酒、◎精酎、穀物麪類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

（電話二五一番）

荒物世帶道具一切

大阪◇製白絞油和洋蠟燭

和傘岐阜提灯魚釣道具

卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替小包郵便を以て御送付申上候尙弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具

各國諸油米穀

銘酒澤龜アサヒサッポロ麥酒

並に買次業

京城本町六丁目

◇西　西崎嘉七本店

電話長二一〇番（二ヵ又は二）

振替貯金口座東京（九四一七番）

乳母入用

京城本町五丁目

大上商店

電話二五一番

資本金十圓にて一日壹圓以上の利益ある職業あり

希望の方は御來談あれ

京城黄金町三番戸

國松商會

平壤要覽　全

定價壹圓廿錢

平壤の事情に精通せんとせば本書を讀め本書の表紙はクロースにして美麗を極む名所舊跡はコロタイプ版にして鮮明なり其記事は確實にして重要事項を網羅せり

發賣元　平壤大和町　白川活版所　電話三四四番

商業會議所前ヨリ東突當リ右ヘ半丁上ル左側

土地高燥清涼

高等御下宿

國分旅館

壽町二丁目

京城旭町三丁目

日韓書房發行

京城廣告社

日本郵船株式會社

仁川出帆廣告

電話十番

瀛船

貨物及船客取扱店

仁川海岸通　電話三九番

郡回漕店

●釜山長崎門司神戸行

山東丸　九月二十六日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行

高砂丸　九月　日正午時出

●大連、大沽、牛莊行

山東丸　九月十四日午前四時出

●大連、大沽、牛莊行

酒田丸　九月三十日正午時出

●釜山出帆、元山、浦津、浦鹽行

立神丸　九月八日午後出

御注意　御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月金拾參錢

●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金六十錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　撫久神一郎

發行所　京城新報社　京城西小門通　電話六六三番